

東北支部設備女子会  
**第2回 福島県須賀川土木事務所・須賀川市庁舎見学会**  
**第1回 交流会**

日時：2022年10月17日 12：00～17：00

参加人数：女性30名 男性17名 計47名

須賀川市民  
 交流センター

須賀川市庁  
 舎

集合・お食事

天祥かぶら

福島県  
 須賀川土木  
 事務所



福島県須賀川土木事務所

見学会

★福島県須賀川土木事務所

(東北庁舎初 Nearly ZEB 認証)

案内・説明 (株)土田建築設計事務所

代表取締役社長 飛木 佳奈 様

★須賀川市庁舎 『みんなの家』

案内・説明 須賀川市建設部住宅設備課

課長補佐兼建築係長 山田 文彦 様

(株)佐藤総合計画 東北オフィス

渡邊 森 様



須賀川市庁舎

交流会

★須賀川市民交流センター tette

司会・進行 (一社) 建築設備技術者協会

東北支部 設備女子会運営小委員会

秋山 悦子・志田 文子・岡田 ゆきえ

協力 (株)協和コンサルタンツ 東北支社

佐藤 恭子 様

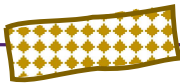


交流会



天祥かぶら





## 【開催概要・感想】

東北庁舎初 Nearly ZEB 認証『福島県須賀川土木事務所』及び復興のシンボルである『須賀川市庁舎』～みんなの家～ を見学した。

### 『福島県須賀川土木事務所』

復興に向けて「原子力に依存しない安全・安心で持続的に発展可能な社会づくり」を基本理念に掲げ、再生エネルギーの導入拡大とエネルギーの効率的利用による「再生可能エネルギー先駆けの地」の実現を目指す施設です。

1. 日射をコントロールする建物配置
2. 自然通風を最大限活かす窓配置
3. 高気密高断熱化による熱負荷を低減する工夫
4. タスク・アンビエント照明
5. 潜熱顕熱分離空調技術等



様々な省エネルギー、地中熱を利用した空調システム、太陽光発電による再生可能エネルギーを導入した経緯について、(株)土田建築設計事務所の飛木社長にご説明頂きながら見学しました。設計段階で設備と一緒に検討した事は飛木社長自身も良い経験になったお話ししてくださいました。

### 『須賀川市庁舎』～みんなの家～

- 基本理念 1 防災拠点となる庁舎
- 基本理念 2 市民に開かれた利用しやすい庁舎
- 基本理念 3 機能性・柔軟性を重視した庁舎
- 基本理念 4 環境に優しい庁舎
- 基本理念 5 須賀川を象徴する庁舎



須賀川市庁舎は自然換気システムや井水のカスケード利用、キャノピーを利用した太陽光発電、備蓄燃料の循環利用等の自然エネルギーの活用と防災機能を両立した建物です。

中間免震（地下1階柱頭免震）を採用しており、庁舎内には防災会議室や市民の一時避難となるオープンスペースを設置。太陽光発電70kw・2系統受電、非常用飲料水貯水槽100tマンホールトイレの設置、庁舎北西側には防災広場を設置しています。

須賀川市建設部住宅設備課課長補佐兼建築係長の山田様や(株)佐藤総合計画東北オフィス渡邊様に庁舎全体を案内して頂きました。

今回時間が無くて回れなかった展望フロアも素敵な場所ですので是非一度上がってみてくださいとの事。ウルトラ会議室や庁舎内のウルトラマンも須賀川ならではのとても楽しかったとの感想もありました。

### 『交流会』

自分の仕事についての「好き」と「困った」を各自付箋に書き出し今の気持ちに向き合ったり、他社の方々と共感したり、自分たちの心の地図を作りました。また、男女共に訪れるライフイベントやキャリア形成に大切な事は何かを各々考えて書き出し、子育てや介護育児参加についての悩みや考え方を共有しました。

同じ業界で働く者同士、年齢性別を問わず同じ悩みを共有したり、全く違う考え方に共感したり、とても楽しい時間になりました。



今回は三重県、愛知県、静岡県、東京都等々遠方からもご参加頂き、他支部の方々とも交流を深めることが出来ました。

最後に、ご協力いただいた須賀川市庁舎及び福島県須賀川土木事務所の皆様に深く感謝します。



(1) 第6761号

須賀川で設備女子交流

活躍のプラットフォームに

建設設備技術者協会東北支部 設備女子会運営小委員会

建設設備技術者協会東北支部の設備女子会運営小委員会が、10月17日（木）に須賀川市市民会館で「プラットフォーム」をテーマとした交流会を開催した。

当日は、須賀川市市民会館の多目的ホールで開催された。参加者は、建設設備技術者協会東北支部のメンバーを中心に、地元企業や自治体関係者など、約40名が参加した。

交流会は、まず設備女子会の紹介から始まり、運営小委員会のメンバーが、プラットフォームの意義や、今後の活動方針について説明を行った。続いて、参加者同士がグループを組んで、活発な議論が交わられた。

また、会場には、建設設備技術者協会東北支部の展示ブースも設置された。参加者は、最新の設備技術や、最新の設備機器について、展示ブースのスタッフから説明を受けた。

交流会は、午後3時に閉会した。参加者は、今回の交流会を通じて、互いに交流を深め、今後の活動に協力していくことを約束した。

プラットフォームとは、建設設備技術者協会東北支部のメンバーと、地元企業や自治体関係者とが、互いに交流を深め、互いに協力し合うための場を指す。

プラットフォームの意義は、建設設備技術者協会東北支部のメンバーと、地元企業や自治体関係者とが、互いに交流を深め、互いに協力し合うことにある。また、プラットフォームを通じて、最新の設備技術や、最新の設備機器について、互いに学び合い、互いに協力していくこともできる。

プラットフォームの今後の活動方針は、建設設備技術者協会東北支部のメンバーと、地元企業や自治体関係者とが、互いに交流を深め、互いに協力し合うことにある。また、プラットフォームを通じて、最新の設備技術や、最新の設備機器について、互いに学び合い、互いに協力していくこともできる。

プラットフォームの今後の活動方針は、建設設備技術者協会東北支部のメンバーと、地元企業や自治体関係者とが、互いに交流を深め、互いに協力し合うことにある。また、プラットフォームを通じて、最新の設備技術や、最新の設備機器について、互いに学び合い、互いに協力していくこともできる。



須賀川土木事務所



須賀川市役所  
Sukagawa City Hall

主催：（一社）建築設備技術者協会東北支部（設備女子会運営小委員会）

後援：福島県設備設計事務所協会、福島県空調衛生工事業協会、福島県電設業協会、福島県地中熱協同組合、福島県建築士会女性委員会、福島県建築士会須賀川支部女性委員会、ふくしま建女会（福島県建設業協会）、日本技術士会東北本部男女共同参画推進委員会、日本技術士会福島県支部、日本技術士会ふくしま未来委員会、空気調和・衛生工学会東北支部、電気設備学会東北支部、日本冷凍空調学会東北地区事業推進委員会、日本建築学会東北支部環境工学部会、日本設備設計事務所協会連合会北海道・東北ブロック、日本空調衛生工事業協会東北支部、東北空調衛生工事業協会、日本電設工業協会東北支部

【参加企業】（順不同）

(株)土田建築設計事務所、(株)佐藤総合計画、(株)久慈設計、(株)山下設計、(株)三本杉ジオテック、ゼネラルヒートポンプ工業(株)、新協地水(株)、静岡県庁、(株)エアテック、三機工業(株)、ミサワ環境技術(株)、(一社)福島県電設業協会、東北文化学園大学、ふくしま建女会、(株)長府製作所、(株)熊谷組、(有)キャド・ケンドロ、藤原工業(株)、新菱冷熱工業(株)、(株)朝日工業社、(株)東洋熱工業、大成建設(株)、日比谷総合設備(株)、建築士会須賀川支部、設備女子会中部支部